

されているばかりでなく市民からも必ずしも好感を持たれているとは言いがたい面がありましたが、アンケートの書き込みの中にも「医師会というと何か良くないイメージがあった」「医師会がこの映画を上映すると聞いて正直驚いた。医師会はお金を政治に悪用している団体と思っていた」など医師会を批判的に見ている意見が見られました。

しかし、この上映会を通じて「このような行動を起こされたことに心から敬意を表します。これからいろいろと市民に働きかけてくださいますようお願いいたします」「医療や福祉が良い方向に向かうよう医師会が奮闘されることを期待しています」など今後の医師会活動に期待を寄せてくださる声も数多くあり、従来からのイメージとは異なる医師会像を市民にお示しできたかと自負しています。

今後とも小樽市医師会では市民に対する啓蒙活動を幅広く進め、市民から信頼される医師会と感じていただけるよう努力していく決意です。

なお、この上映に当たっては昨年11月1日に日本医師会最高優功賞を受賞した小樽市医師会の活動「市民健康教室」に対する副賞を費用の一部に充て、市民とともにこの榮譽を分かち記念といたしました。

※小樽市医師会は小樽のローカルFM局「FMおたる」で毎週「健康おたる」と題して番組を提供しています。この中で「シッコ」についても数回にわたって取り上げています。これらの内容は当医師会のHP(<http://www.hokkaido.med.or.jp/otaru/>)でお聴きいただけます。ぜひ、アクセスをお願いいたします。

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。是非ともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

1. 原稿の締切
毎月10日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。
できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。
2. 原稿の体裁と字数制限
 - (1) 原則として横書きといたします。
 - (2) 引用文以外は、すべて当用漢字、現代かなづかいを使用してください。
 - (3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
 - (4) 1回の掲載紙面は、原則として2頁を限度とします。
医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。
 - (5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。
3. 原稿の訂正、返却
次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。
 - (1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
 - (2) 匿名の投稿
 - (3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの（二重投稿）
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
 - (4) その他掲載に支障がある内容
4. ホームページへの掲載
特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661 FAX 011-252-3233
E-mail：ihou@m.douji.jp